

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(主)川上佐久線					
事業毎の通番		3	市町村名	川上村～南相木村	箇所名(ふりがな)	馬越峠(まごえとうげ)				
事業概要	事業目的	(主)川上佐久線は、川上村と佐久市を結ぶ幹線道路であり、観光道路としても利用されている。また、小海町を短絡することから、県立小海高校やJR小海線小海駅を利用して通う高校生を送迎する通学道路として利用されているほか、地域唯一の基幹病院である佐久総合病院小海分院への生活道路として利用されており、山間部の道路でありながら重要な道路であるため、冬期通行規制の解消、通行の安全・安心を確保するため、幅員狭小部や見通しの悪い箇所の改良を行う。								
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法					
	関連する事業、計画等	なし								
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 736台/日								
	着手年度	平成30年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	1.6	国庫	その他	県債	一般財源		
	全体事業内容(主な工種)	道路拡幅工 L=1060m、W=4.0(5.0)m			200,000		180,000	20,000		
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間・経費等の減少 災害に強い道路整備 生活・通勤道路整備								
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 (国)141号の代替路 地域住民の安全・安心の確保								
評価の視点	必要性	○計画交通量 : 736台/日 ○代替道路の有無 : 40分の迂回を伴う ○医療・福祉・教育施設との連携 : 佐久総合病院小海分院、小海高校等の1次アクセス ○交通結節点アクセス : (国)141号を短絡する道路 ○観光振興・地域の活性化 : 冬期通行規制の解消、観光ルート(立原高原、南相木温泉滝見の湯)						評価	A	
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : なし ○緊急輸送道路の路線指定 : 避難経路となる路線 ○地域指定 : 首都直下地震緊急対策区域指定市区町村、振興山村、過疎地域						評価	B	
	効率性	○費用便益比(B/C) : 1.62 ○事業期間 : 5年間 ○工法等の比較検討 : コスト削減のための比較検討あり ○他事業との連携 : なし						評価	A	
	緊急性	○近年の交通事故件数 : なし ○道路環境改善 : 幅員狭小部・鋭角なカーブの解消 ○歩道整備 : なし ○現況の車道幅員、半径、勾配 : 車道幅員4.0m 勾配11% 曲線部の拡幅なし						評価	B	
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H29.6、H29.7) ○地域の取り組み : 沿線3村で期成同盟会を組織して活動(H29.7.20建設部長要望) ○地域の合意形成 : 事業全般について合意形成が図られている ○住民との協働 : マラソン大会のコースに利用され毎年大会前に巡視点検						評価	A	
	部局意見	事業の必要性、効率性、計画熟度が高いため、平成30年度から事業化したい。						採択状況	○	総合評価
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。									

【位置図、平面図、構造図等】



位置図



車両同士のすれ違いが困難



標準横断面



平面図

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(主)川上佐久線は、川上村と佐久市を結ぶ幹線道路であり、生活・観光道路として利用されている。川上村内の基幹道路と結ぶ県道は全て幅員が狭く、また、当該路線も冬期通行規制となっている。南佐久地域唯一の基幹病院と高校は小海町にあるため、山間道路ではあるが改良を望む声が多い。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	南佐久地域の基幹病院や高校は小海町にあるため、川上村と小海町を短絡する当該道路の改良の要望を受けている。平成元年頃から南佐久地域における沿線3村(川上村、南相木村、北相木村)により期成同盟会が組織され、一時の休止状態を経て平成20年頃からトンネル化を含めた道路改良について部長要望や知事要望を繰り返し行っている。
③事業説明等の経緯	H29.6 南相木村役場及び議員に説明 H29.7 川上村地元役員に説明
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	幅員狭小部や曲線部のため見通しが悪い箇所を改良するものであり、自然環境への負荷は少ない。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られるとともに教育施設及び医療機関へのアクセス向上による暮らしやすい生活環境の形成が図られる。
⑦その他	

事業代表地点	北緯:N 35° 59' 35"
の緯度経度	東経:E 138° 34' 43"